令和6年度 教育委員会事務局長「政策宣言」達成状況

教育委員会事務局長 久々江 豊

○ 令和6年度重要事業

事業名	コミュニティ・スクールの推進
目標	全ての小・中学校に学校運営協議会を設置するとともに、学校と地域をつなぐコーディネーターを配置し、地域と保護者、学校が一体となって子ども達を育む「射水市コミュニティ・スクール」を推進します。
年度末達成状況	全ての小・中学校に学校運営協議会の設置及び学校支援コーディネーターを配置し、地域と保護者、学校が一体となって子ども達を育む体制を構築しました。
自己評価	「射水市コミュニティ・スクール」の連携体制を生かし、各校特色ある教育活動の実践に取り組むため、学校運営協議会での協議を進めるとともに、学校支援ネットワークの更なる充実に努めます。

事業名	持続可能な部活動の推進
目標	休日の部活動の地域移行について、運動部活動における実証事業により見えてきた課題を整理しながら実施競技を拡充するとともに、文化部活動においても関係団体と協議を進めます。競技団体等や保護者の協力を得ながら、休日における全ての部活動の地域移行に向けた取組を進めます。
年度末達成状況	休日の部活動については、8運動部（剣道、柔道、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、バレーボール、ソフトボール）と1文化部（美術部）の地域展開（地域移行）を実施しました。 また、未実施の部活動の地域展開に向けて、関係諸団体との継続的な調整を行いました。
自己評価	これまでの成果と課題を検証しながら、令和7年度中に全ての休日の部活動の地域展開に向けて取り組みます。 また、平日の活動も含めた学校部活動の今後の在り方について、子ども達が希望するスポーツや芸術文化に親しめる体制づくりと併せて協議・検討を進めます。

事業名	スポーツ活動の推進と文化財の保存活用
目標	<p>令和6年度からスタートした第2次射水市スポーツ推進計画に基づき、幼児から高齢者まで市民一人ひとりがライフスタイルに応じて、スポーツ活動に親しむことのできる環境づくりに努めます。</p> <p>また、令和6年能登半島地震で被害を受けたスポーツ施設の早期復旧に努めます。</p> <p>文化財では、ユネスコ無形文化遺産に追加提案された放生津八幡宮祭の曳山・築山行事を始めとする、市内にある各種文化財の保存活用・普及啓発に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>地震で被害を受けたスポーツ施設の復旧状況については、海竜スポーツランドのスロープの復旧は完了しました。フットボールセンターについては、人工芝フィールド2面の再開が令和7年4月末になる見込みです。</p> <p>放生津八幡宮祭の曳山・築山行事の保存活用計画の作成を支援しました。また、能登半島地震による被災文化財の調査を進めるとともに、修理補助など文化財の復旧を支援しました。</p>
自己評価	<p>スポーツ施設については、利用者の皆さんが安全・安心に利用できるよう引き続き、適切な維持管理に努めます。</p> <p>文化財保護団体や地域との連携を図りながら、引き続き文化財の保存活用・普及啓発を推進し、文化財保護意識のさらなる高揚に努めます。</p>